

献華式

とき 1月9日(月) 13時〜

ところ 御影堂

「六角さん」の通称で、京の町の人々から親しまれ、いけばな発祥の地とされる六角堂の正式名称は紫雲山頂法寺です。六角堂は、親鸞聖人が参籠し、法然坊源空聖人と出会われるきっかけとなったことでも知られています。

この六角堂は五八七年聖徳太子創建と伝えられ、その六角堂の池のほとりに住いする僧侶が朝夕に仏前に花を献じていました。その僧侶はしだいに「池坊」と呼ばれるようになり、六角堂からいけばなが広まっていきました。

池坊は二〇一二年、中興の祖「池坊専慶」が「花の名手」として歴史上の文獻に登場して、五百五十年を迎えます。池坊はいけばなの根源として、日本の伝統文化いけばなの魅力を発信して参ります。

大遠忌法要御正当初日の一月九日、華道家元池坊次期家元であり、親鸞聖人ゆかりの六角堂副住職でもある、池坊由紀氏が御影堂において献華を行い、十六日までお供えいたします。

どうぞご参拝ください。



▲ 頂法寺